

「坂の街」原稿

田中 靖宏

ロシアの友へ・反戦平和の手を結ぼう

ロシア軍によるウクライナ侵攻から3週間。新聞テレビが伝える惨状に怒りと悲しみ、そして恐怖の入り混じったやり切れない思いが募る。とりわけ気になるのは、モスクワに住んでいる若い友人のエカテリーナさんのことだ。

彼女は、私が関係している日本 AALA 連帯委員会と姉妹関係にあるロシア平和協力委員会の書記をしている。180センチ近い長身で、いつも澁刺。新型コロナで中断される前は交流の窓口になり、訪問団の世話をしてくれた。無料の国際通話で「タナカさん、元気？」と気軽に声をかけてくれた。それが半年前から途絶えてしまった。他の協会幹部にメールしても返事がこない。心の中でいつも彼女に語りかけている。

.....

エカテリーナさん元気ですか。どうしてこんなことになってしまったのでしょうか。日本 AALA が出したロシア政府への抗議声明を受け取ってもらったのでしょうか。モスクワ市民の姿をテレビで見るたびに、あなたのことを思い出しています。閉鎖されるマクドナルドの前にはいるのでしょうか、それとも警察に連行される反戦デモの中にはいるのでしょうか。

モロッコの首都ラバトやエジプトのカイロ、ネパールのカトマンズ。私たちが加盟するアジア・アフリカ人民連帯機構 (AAPS0) の総会が開かれるたびに、ホテルで夜遅くまで議論しましたね。イスラエル占領軍とたたかう西岸のパレスチナ人をどう支援するか、空爆の犠牲になったガザの子供たちをどう救うか。あなたが訴える真剣な眼差しは眩しいばかりでした。

ウクライナのこと一度話しましたね。一部の親西欧極右派がクーデターで政権を倒し、ロシア系住民を迫害している。立ち上がったドンバス地方のロシア系住民をプーチン政権が支援している、ウクライナが NATO に入り米ミサイルが配備されれば、ロシアは「あっ！」という間に米国に攻撃されてしまう、と

いう話でした。

その時はわかったといったけれど、やはり今度の侵攻は許せません。首都を包囲し、病院や幼稚園まで攻撃する行動は、どんな口実をもっても正当化できないと思います。

プーチン政権は凶暴になって「裏切者をあぶりだす」と戦争反対派を抑圧しましたそうですね。恐ろしいのは行き過ぎた愛国主義と軍国主義です。日本にもかつてありました。戦争に少しでも疑問をもつ人を「非国民」としました。

しかしこの無謀で残忍な戦争を終わらせる大きな力はあなたたちの手のなかにあると思います。今あなたの住むモスクワで静かに沸騰しているに違いない人びとの良識、人気のニュース番組に突然現れて戦争反対のサインを出したテレビ局の女性の勇気ある行動が、私たち遠く離れた日本でもどれだけ多くの人びとの心を打ったか、そのことを伝えたいと思います。

どんな理念や大義よりも命が大事です。先の大戦の誤りから学んでできた憲法9条の精神で私たちも頑張ります。「戦争をやめ平和の話し合いを」の声で手を固く結び、プーチン政権を追い詰めようではありませんか。(了)